

新人教育

ともに育つ・育ち合うしくみ

1年目

最初の1年は日々が学びです。学生時代に学んだ理論を、支援を受けながら現場で展開していきましょう。新人の気持ちがよくわかる「プリセプター」が半年間、看護の実際をよく知る「エルダー」がその後の半年間寄り添います。できるだけ早く現場に慣れ、看護技術やケアを提供できるように支援します。

院内集合研修

4 APR.	◆新採用者オリエンテーション ・基礎看護技術 ・BLS
5 MAY	◇周産期新採用者集合研修① ◆看護必要度研修 ◎赤十字の今
6 JUN.	◆新採用者リフレッシュ研修 ◇周産期新採用者集合研修②
7 JUL.	◎夏の看護研究発表会 ◎特別講演 ◇周産期新採用者集合研修③
8 AUG.	
9 SEP.	◎赤十字の基本原則と国際人道法セミナー①
10 OCT.	◎赤十字の基本原則と国際人道法セミナー② ◇周産期新採用者集合研修④ ◆新採用者フォローアップ研修
11 NOV.	◇周産期新採用者集合研修⑤
12 DEC.	◇周産期新採用者集合研修⑥
1 JAN.	◎冬の看護研究発表会
2 FEB.	
3 MAR.	



新採用者オリエンテーション

4月1日の辞令が出たあと、約10日間の日程で行います。前半は赤十字の概念、病院の理念、医療安全や感染対策、防災、接遇や身だしなみなど。後半は看護部の理念、看護業務、院内教育、コミュニケーションなどを学びます。e-ラーニングを含む技術研修や電子カルテの操作訓練もあります。



新採用者リフレッシュ研修

入職後2ヶ月頃、院外の施設で開催。同期の仲間とワークショップを楽しみ、体験を共有することで自分の成長を確認します。上手なリラックス法なども学びます。



新採用者フォローアップ研修

入職後7～8ヶ月頃に開催。同期の仲間と再会し、互いの頑張りや成長を称え合い、次なる目標を確かめます。

◆新採用者必須の研修 ◇周産期部門所属 必須の研修 ◎自由選択の研修

新採用者の教育環境

新人の気持ちがわかるプリセプターと、プリセプターの気持ちがわかるエルダーが新人を支えるプリセプター・エルダーシッププログラム。さらに教育担当者、技術リーダー、新人教育リーダーが支え、手厚く育成します。



新人看護職員



プリセプター

新人看護職員に対して、臨床実践に関する実地指導、評価等を行う



エルダー

入職6ヶ月以降の新人看護職員の実地指導・評価及びプリセプターの支援を行う



新人教育リーダー

部署の新人教育について統括する



教育担当者

- 看護管理者とともに病棟の現任教育全体の計画立案を行う
- 新人看護職員については新人教育担当者と連絡・相談しながら教育計画を推進する

2年目

2年目は、部署で医療者として自立できることを目指します。各部署で日々の看護実践を続け、役割を持って活動するうちに、社会人としての基礎力もついていきます。認定看護師・専門看護師によるフィジカルイグザミネーション研修や、2年目フォローアップ研修、「職場の先輩」研修など、自己研鑽のきっかけになるさまざまなプログラムを用意しています。

3年目

3年目になると、教育する側の立場を経験します。他者に伝える立場になることは新たな気づきや知識を深めるきっかけにもなります。プリセプターフォローアップ研修では、現場での教育を担うための基礎知識や、コミュニケーションを円滑にするためのスキルを学びます。また、救護員研修など赤十字プログラムに参加することで、救護活動へ参加する道も拓かれます。

当センターには新採用者のための教育プログラムが整っています。定期的に行われる院内集合研修では他の病棟で働く同期と切磋琢磨し、部署での教育では自己の成長に合わせて社会人基礎力も養います。

◆ 新人ナースの1日



辻 周一郎

首都大学東京（現・東京都立大学）卒
2020年入職／血液内科病棟勤務

患者さんと療養生活を ともに乗り越える 関係を築きたい

私が勤務する血液内科は病床数40床。約40名の看護師が配置されており、日勤では4～5人ほどの血液造血管器疾患の患者さんを担当します。治療の中心は抗がん剤で、医師の指示のもと点滴や内服の管理を行っています。抗がん剤には吐き気をはじめさまざまな副作用が出現します。感染症のリスクも増すので、問診やバイタルチェック、呼吸音の聴診などを通して早期発見に努めています。また、清潔ケアなど療養生活の支援も看護師の大切な仕事です。

血液造血管器疾患の治療は数週間から1か月と長期にわたります。看護師が患者さんとかかわる時間も長くなりますが、ともに治療を乗り越える関係性を築くのは簡単ではありません。私が心がけているのは患者さんの顔を見て挨拶をすること、真摯にお話を聞くこと。「おかげで気持ちが楽になりました」と言われたときは大きな喜びを感じました。他科での経験も積んで、患者さんを多角的にとらえることのできる看護のジェネラリストになるのが目標です。



08:00

情報収集

担当する患者さんの情報をカルテから収集し、今日行う処置などをメモします。



08:30

挨拶

患者さんに挨拶をします。現在の状態を確認し、今日の予定を伝えます。



09:00

薬剤の投与

抗生剤などの点滴を行います。



09:30

バイタルサインズチェック

担当の患者さんをまわって、バイタルサインズのチェックをします。



10:15

清潔ケア

清拭や洗髪などの清潔ケアを行います。



11:40

休憩

朝買ってきたお弁当を、病棟の休憩室で食べます。



12:40

カンファレンス

看護師で患者さんの情報を共有し、看護の方向性を話し合います。



14:00

バイタルサインズチェック

午前と比較して患者さんに変化がないか確認します。



15:30

記録

患者さんの状態を記録します。



16:30

勤務終了

夜勤勤務者に交代します。